

2014 年 4 月吉日

報道関係者各位

虎屋文庫機関誌『和菓子』 21 号発行

2014 年 3 月発行(年 1 回発行)

B5 版／130 頁／900 円(税込) 送料1冊 82 円

虎屋文庫は、和菓子をテーマとした展示、講演会の開催ほか、和菓子関連資料の収集、機関誌の発行などの活動を行なっております。この度、機関誌『和菓子』21 号を発行いたしましたので、見本誌をお送りするとともに、概要をお知らせ申し上げます。

機関誌『和菓子』とは

和菓子に関連する事柄についての論文や史料翻刻を中心とした学術雑誌で、1年に1回、発行しております。毎回「菓子道具」「江戸と菓子」「羊羹」など、菓子に関わる特集を設けています。

巻頭言

○義理と人情と贈与

松岡正剛(編集工学研究所所長)

書評サイト「千夜千冊」などで知られる編集者で作家の松岡正剛先生に、日本の良き風習である贈答について語っていただきました。

特集 一 贈答と菓子

菓子は古来、人と人をつなぐ役割を果たしてきたといえます。今号は菓子の贈答について三人の先生のご論考を掲載しました。室町～江戸時代、十月亥の日に厄払いのため餅を食べる亥子行事で、能勢(大阪府)から宮中へ献上された能勢餅の実態、江戸時代の公家久世家で儀礼や行事などの際にやりとりされた菓子や出入りをしていた菓子屋(沢屋播磨、二口屋、虎屋)の紹介、近代以降鉄道の敷設などによって広まったおみやげ菓子(温泉饅頭、八つ橋など)がどのようにして広まったのか、などさまざまな切り口で論じていただきました。

執筆者紹介

○織豊期における能勢餅の贈答

盛本昌広

○近世堂上公家の贈答と菓子

西村慎太郎(総合研究大学院大学准教授)

○近代日本の名物菓子とおみやげ

鈴木勇一郎(立教大学立教学院史資料センター学術調査員)

虎屋の御用記録の翻刻

元禄7年(1694)「諸方御用之留」(虎屋黒川家文書)の翻刻を前号に続き行なっています。今回の注目点は、江戸城本丸への御用でしょう。これは五代将軍徳川綱吉へ贈られたと考えられるもので、注文された菓子はすべて干菓子でした。おそらく京都から江戸への日数を考慮し、選ばれたのではないかと思います。

購入方法

●電話・FAX・E-mail にてご注文ください。書店には流通しておりません。郵送にて販売致します。

(21号 900円(税込) 送料/1冊 82円)

●虎屋文庫資料展開催中には、虎屋ギャラリー受付にても販売いたします。

次回開催 今秋を予定 「和菓子東西対決(仮)」展

バックナンバーも販売中 〈価格 6号 800円、19号 1,000円、他は 900円(いずれも税込)〉

- 5号特集 和菓子原材料の現在
- 6号特集 茶の湯と和菓子
- 7号特集 歴史資料と和菓子
- 8号特集 外来食文化と和菓子
- 9号特集 九州
- 10号特集 民俗と菓子
- 11号特集 菓子とまじない、占い
- 12号特集 唐菓子
- 13号特集 笑いの世界と和菓子
- 14号特集 鎖国時代の異国人への饗応菓子
- 15号特集 菓子道具
- 16号特集 武家社会と菓子
- 17号特集 江戸と菓子
- 18号特集 甘味料をめぐって
- 19号特集 菓子史料コレクションから見えるもの
- 20号特集 羊羹

*創刊号～4号は完売しました。

*4月以降も価格は据え置きにいたします。

購読お申し込み・お問い合わせ先

〒107-8401 東京都港区赤坂 4-9-22

株式会社 虎屋 虎屋文庫

TEL 03-3408-2402 FAX 03-3408-4561

E-mail bunko@toraya-group.co.jp